常磐毎日新聞

日刊

夕刊　五月二十日

定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　福島縣石城郡平町長橋町三五　坂本忠治
發行所　常磐毎日新聞社　電話六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社（振替口座）東京四〇二一〇番

待望の大平市

新市民の昂奮裡に

今明日中告示さる

施行上一切の手續が完了

內務省では平市制實施に關し既報の如く平、平窪兩町村の答申並に縣參事會の答申に基き愼重に熟議する一方、過般來郡した加藤內務省行政課長等の調査報告に依り愈々市制實施認可に決定、今明日中に官報を以つて告示されることになつた、これに依り待望の『大平市』は六月一日を以つて新市民三萬五千人の昂奮裡に歷史的實現を見ることが決定される

喜びに躍る

平市誕生の日

町と別離の鐘に

明ける六月一日

擧げて祝賀の渦

六月一日を期して誕生する『大平市』の新市民は今や歡喜と昂奮の絕頂に雀躍して早くも名刺、葉書その他の書緘紙等に平市の名稱が記錄されて

氣早な ところを見せてゐるが新市となる平町、平窪兩町村では過去の歷史を誇る町村制への最後の名殘りを惜しむべく五月卅一日夜半十二時を期して平舊城趾

城山の 鐘百八打鳴らし町へ、村への別離を告げ明けて歷史的市制實施の六月一日は午前九時を期し縣社子鍬倉神社々頭に全市民が參集して嚴肅な奉告祭と祈願祭を執行、引續き

第一校 々庭に於て祝賀の宴を盛大に擧行することになつた、尙當日は市內男女の生徒が手に手に祝の小旗を打振つて市中を練り歩き意氣上る『新平市』の躍進振りに一層の

拍車を かけ夜に入つては靑年團が中心となつて各種團體參加の盛大な提灯行列を行ひ全市に喜びの灯を溢れさすことになつた、一方平消防組では新銳を誇る

自動車 ポンプ數臺に組員が分乘して『祝す平市誕生』その他のビラを全市中數回に廻つて疾驅市民に撒布更に祝賀氣分をあふり正に當日は歡喜の坩堝と化すこととなつた

因に公會堂の建設を待ち更らに大々的市制披露の祝賀會の計劃があると

工業美の

一點景を描出

鎌田の山河を越え

索道式炭殼運搬

平町爾宜町磐城炭礦火力發電所では毎日使用濟の石炭殼が山積して處分に困つた揚句鐵索を以つて神谷村片寄地內に搬出處分することになり過般來鐵索道の完成を急いでゐ

たが愈々この程竣功運轉を開始した

因にこの鐵索道は夏井川と鎌田山を越えて神谷村に至る延長二キロの文化施設で

出力二萬キロの能率を有する同發電所では毎日平均三百トンの石炭を煙とするため吐き出される石炭殼が一日二百五十トンの大量に上り附近一帶に宛ら炭殼の山を築いて都

市美を損ふ[illegible]

め炭礦當局で種々協議、考案した結果施設されたもので近く市制を敷かれる大平市の躍進する工業界を如實にシンボルする効果を擧げるべく一偉觀として誇るものである

竊盜罪言渡

既報江名町齒科醫院平野哲衛氏方から自轉車を掻拂ひ湯本町で賣飛さんとしたところを逮捕された豊間村大字豊間生れ目下住居不定前科一犯相澤高（二八）に係る竊盜事件の公判は今二十日午前九時から平區で田中判事係り石合檢事立會の下に開廷、檢事から懲役十ケ月求刑され判事から即決求刑通り言渡され直ちに服罪した

天氣豫報

今晩は南の風曇後雨

明日は南西の風曇後晴

初夏の訪れ

早くも街頭に

涼味の欲しい初夏を迎へた平地方は街角に早くも金魚賣の涼味を呼ぶ賣聲が聽こえて初夏のシーズン來を思はせ、人々はトタンになんとなく暑さがこみ上げて來る、早くも初夏だ！櫻々と騷いだ白一色の櫻も既になく最近まで咲き誇つたつゝぢさへ最早最後の色あせた殘んの美を僅かに止めてゐる丈けで今年も街々には既に初夏の氣分が橫溢、氣早やな小商人連は四、五日前からアイス、氷水の準備を開始一日とは云はず初夏は深まつて行く

退職した

海軍班長

昨夜慰勞會

在鄉軍人平分會海軍班長太田良一氏はこの程退職したので分會では昨夜此の慰勞會を開き記念品に感謝狀を添えて贈つた

駄菓子の誘惑に

打ち負かされた刑餘者

又も逆戾り

西白河郡西鄕村大字小田倉佐藤治左衞門（四五）は今二十日平檢事局で櫻井檢事係り取調べの結果竊盜罪で起訴され來る二十四日午前九時から平區で田中判事係りの下に公判が開廷される

同人は前科五犯を有する强か者で昨年十一月懲役二年の刑を終へ札幌刑務所を出所宮城縣岩沼町や相馬郡小高町及び本郡湯本町を荒し去る十七日双葉郡廣野村大字夕筋駄菓子商吉田ナカさん方に忍び込み僅か二十五錢分の駄菓子を竊取逃走せんとした所を同家の娘ウメ（三〇）さんに發見逮捕されたもの

八つ當りの喧嘩

二人組の亂暴男

內鄉村宮字鬼ケ澤坑夫鈴木秀一（二〇）同村平太郞坑夫關幸一（二二）の兩名は去る十三日夜同村瀧地內縣道で通行中の同村高坂坑夫四名に喧嘩を吹きかけ散々毆打、うち佐藤一（二三）に全治九日間の傷害を負はせ更に通り合せた同村津村飯場坑夫莞木三夫（二六）同坑夫山崎榮次郞（二九）の兩名を下駄を揮つて滅茶々々に毆打して夫々全治二週間の傷害を負はせたこと發覺、平署で檢擧した

尙兩名は札付きの不良で前にも傷害で同署に擧げられたことがあり目下同署で關係者取調べ中

平方面の

カフエにか

栃木縣那須郡金田村倉骨乘一妻郡司ヨシイ（三〇）は本年二月中家出、行方を晦ましたが平方面のカフエー料理店に入り込んでゐるらしいからと二十日乘一から平署へ

俵米の

豫定數

明二十一日行はれる石城販聯の俵米定期共販の出荷總數は九百五十俵で內譯左の通り

平一六六、同モチ二、同二號一六〇、飯野一一〇、同モチ五、高久一〇六、草野一六〇、平窪三九、大野一一六、同二號五二、夏井三七

けふの平驛頭

悲愁に曇る

作山氏の遺骨

無言の凱旋……

昨報滿洲の野に護國の花と散つた江名町出身陸軍一等兵作山又一君の遺骨は今廿日午後三時十二分平驛に無言の凱旋、平町では町役場關係者並に各種團體代表者、學生等が參列驛前廣場でしめやかな讀經裡に燒香し直ちに自動車で江名町の鄕里に向つた

苗代の腐敗病に

此際對策を急げ

郡內の苗代に最近腐敗病が發生したところに依つては全滅[illegible]

ほどだが幸に郡農會の豫防對策が手早く行つたの[illegible]

たといふから安心である原因は播種當時の氣溫が低下してゐたのと施肥の關係から來たものと判明した、尙は同郡農會の語るところによれば今後も同病が發生した場合の對應急策としては三年式ボルドー液に砂糖加用ボルドー液を撒布すれば退治出來る

海軍記念日

各學校行事

けふ發表さる

非常時意識を强調

既報平町各學校は來る二十七日の海軍記念日に際し夫々の行事を試み非常時意識を强調すべく過般來準備を進めてゐたが今二十日左の如く一齊に發表された

△磐中、記念講演△平商、記念講演後神谷村立鉾神社往復一萬米マラソン△磐女、記念講演△佑賢、江名方面自轉車行軍△青年、平窪小學校往復マラソン△第一、小陸上運動會△第二、小川方面强行軍△第三、小陸上運動會

十三日會

役員會開く

平町十三日會は今二十日午後一時から磐中會議室に役員會を開き決算報告幹事の補充、幹事長互選の件其他を協議した

高壓線に觸れ

―感電して重傷―

十九日午前十一時半頃平町手掴町日立電力平發電所電工菅野力（四六）は同僚三名と共に變電所構內の地上約二十五尺の高所で鐵構の修理作業中誤つてかたわらの五萬五千ボルトの高壓線に觸れ感電、後頭部その他に重傷、新川町北川醫院に入院加療中だが瀕死の重傷である

病虫害の

驅除傳習

石城農試分場の農事傳習會は二十四日午前九時から開き本場奧山技師の病虫害驅除に關する講演する筈

手指を嚙み切る

泥醉の極暴れ込んで

下小川柴原農鈴木作左衛門（四〇）は十八日夜泥醉して日頃仲の惡るい叔父同村鈴木龜之助（七一）方に怒鳴り込み口論の末龜之助の右手中指と藥指を嚙みきつた被害者は目下平町木村醫院で手當中だが全治二ケ月の重傷で平署で取調べ中

カル自殺

病氣の青年

內鄉村小島農吉田喜一（二三）は十八日夜小名濱町中島新米旅館に宿泊、同夜カルモチン百錠を嚥下自殺した、原因は遺書もなく不明であるが神經衰弱の昂進と見られてゐる

模範苗代を見學

中堅農民上遠野村へ

石城中堅農民講習生は十九日好間村の二毛作共同作業場內の草農事實行組合を視察、更に來月五日には上遠野村の模範苗代の見學をなす

兩校長出縣

篠山平第一、千葉同第二の兩校長は明二十一日福島市に開かれる故渡邊文彌氏の[illegible]

爲め今二十日出張した

隣り客に

喧嘩を吹掛

双葉郡新山町字新町生れ平町鎌田町木賃宿三河屋方止宿行商人若林初吉（二七）は十七日夜同町四丁目飲食店草野家方に登樓飲酒中隣室の同町大字鐵工[illegible]

を吹きかけ毆打、顏面に全治一週間の傷害を負はせた

適令男不明

相馬郡大甕村北原草野惠助長男大（二二）は去月十八日家出、最近平町方面に入り込んだ形跡あるため惠助から今二十日平署へ搜査方願ひ出た

同人は幼少九才の折腦病を患ひ本年は適令に當つてゐると

小名招魂祭

小名濱町招魂祭は今二十日午前九時から同町富ケ浦公園に於て日清日露戰役並に日支事變戰病歿者の招魂祭を擧行した

めじろ啼調

平春玲會の本年度納會めじろ啼調會は來る二十三日午後零時半から田町白土謠曲稽古所に開催される、會費不用

平町人事

回婚姻

△田町六二　賓川泉二氏（二七）同賓川みのさん（二二）

回死亡

△白銀町四二石田祐造さん（二ツ）

マネキ

二十日替り

🔲平館　二十日より二十三日まで短期、ファンク博士責任編輯、獨逸版早川雪洲、原節子小杉勇、ルート・エヴエラー、マックス・ヒンダー共演『新しき土』アラビアンナイト映畫化監督ウオルター・フオード『朱金昭』料金四〇錢、小人半額

平職業紹介所報

回求人之部

△採炭夫　尋卒程度　日給一圓

△雜夫臨時　日給八十

△出前持　尋卒　給歩合

△農夫　五十才以下　日給五十錢

△女中　二十才前後　給五、六圓

回求職之部

△採炭夫　三十五才　高卒

ラヂオ　KHOJ

今晩の部

▼後六、〇〇　ラヂオスケッチ「釣り」HKコドモ會

▼後六、二五　國史連續講演「賴朝の京都憧憬」龍肅

▼後七、三〇　講演「帝國燃料界の將來と朝鮮無煙炭の使命」[illegible]

▼後八、〇〇　放送文藝懸賞入選作發表「1「國民歌謠四曲」關種子、內田榮一 2物語「疲れ切つた須美」堀越節子 3ミュージカルドラマ「故鄕の人々」友田恭助

▼後九、三〇　時報　ニユース　明日の話題　產業メモ　氣象通報　番組豫告

明日の部

▼前一〇、三〇　家庭講座「學生の團體旅行」藤岡眞一郎

▼後〇、〇五　モダン小唄「三角の雪外」大澤健司　外

▼後〇、三〇　國民歌謠　新鐵道唱歌　サンマルテ合唱團

▼後二、〇〇　小學生の時間　尋五―高二「名曲のいはれ」白鳥騎士木曜會

▼後二、三〇　婦人の時間「婦人一家言」星野あい

▼後三、一〇　教師の時間「ソヴエト聯邦に就て」陸軍騎兵大佐笑原幸雄

▼後六、〇〇　子供の時間　理科物語「動力」大阪科學劇協會

▼後七、三〇　管絃樂「交響曲第五番ハ短調」日本放送交響樂團

▼後八、一〇　ラヂオドラマ「役の行者」靑山杉作　外

▼後九、〇〇　時事解說「戴冠式を繞る外交の舊慕褒法」博芦田均

時計・眼鏡

壹圓以上

正價二割引サービス

期間 5月30日マデ

高橋時計店

平町二丁目

▼是非！

御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます

公債、債券質、物一般

三井質店

平四　電話六〇六番

磐城セメント會社特約店

釜屋商店

磐城平町五丁目　電話九・九九

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は久の生命なり

齒科口腔外科

レントゲン科

院長東京齒科醫學士　原精一

電話三一一番　平町土橋通

原齒科醫院

內科外科一般

金成醫院

金成忠義

平町鎌田町電話三五八番

白柄劍風連

大島多慶夫作

井川洗厓畫

（禁上映上演翻案）

……一五五……

友情に生きて（六）

十郞左衞門には又源太の心の眠ふかく潜んでゐる純情な男が、必ず自分の希望に應じて呉れるものといふ自信がついてゐた。

『どうぢや。やつぱり貴公の手許にいたしたいのか』

と、十郞左衞門は笑顏をして見せた。

『譲つても好いな』

『ぢや、譲つて呉れるか』

『[illegible]まう。御身の代りに貴公が御家政のために働いて呉れたら同じことぢや。伊豆守殿も白柄組の[illegible]が判然と德川譜代の臣下らしい振舞ひをして呉れたら、[illegible]めし御[illegible]なさるだらう水野氏。[illegible]を[illegible]んで[illegible]をいたうかな。はゝゝ』

と、源太は例の豪傑笑ひをして、座敷の[illegible]に[illegible]らせたりであつた。

× ×

內藤おかんの[illegible]で[illegible]のおろくを始め容色のいゝのが三四人座敷と[illegible]を[illegible]んで上つてたもう[illegible]では[illegible]に[illegible]りに來た[illegible]が役人や捕方の[illegible]を[illegible]たので、みな食膳と[illegible]てゐ[illegible]つてしまつて、た丁字風呂の前に集まつて、ヒソヒソと[illegible]き合つてゐた。

が、それも役[illegible]や捕[illegible]が[illegible]座敷を[illegible]びて[illegible]つたので、[illegible]き消す樣に何[illegible]かへ散つてしまつた。

今まで賑やかだつた[illegible]の二階座敷には、百目蝋燭が[illegible]つてゐる[illegible]がつまる樣な[illegible]寂しい[illegible]

の[illegible]ひさんざめく席に溶け込んでしまつた。

源太と十郞左衞門は好い氣持に醉つた。押入から引出された五左衞門の前にも、不愉快な[illegible]が消えてゐたし、お鉢の盛つて[illegible]た。[illegible]には生々とした[illegible]るさが[illegible]

『松平氏』

と、源太は自分の盃を五左衞門の前へさしながら、

『御役職のことは兼てから[illegible]んで居つたが、親しくお目にかゝるのは今宵が初めてぢや。さあ改めてお近附きの盃を獻上しやう』

と、例の太い濁つた聲で云つた。

手持無沙汰にしてゐたおろくが、その盃を五左衞門に次いだが、お綱はおろくの[illegible]を[illegible]なことをと はぬばかりの[illegible]をしてゐながら酌をしてやつた

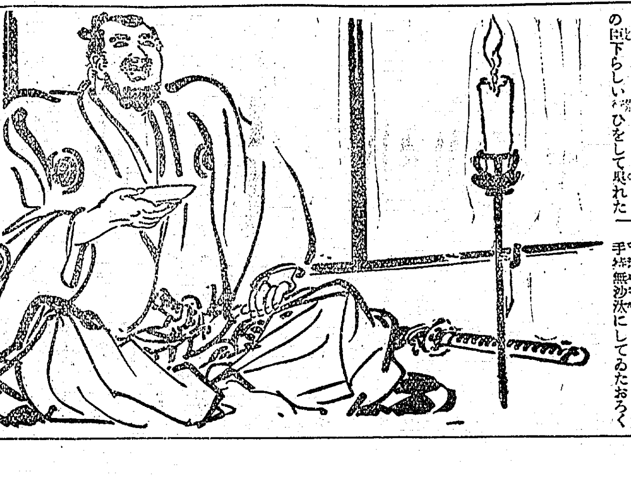
『手前こそ此後よろしくお願ひいたす』

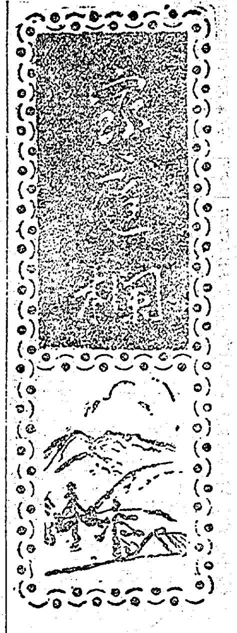
五左衞門の挨拶は[illegible]に簡略過ぎるほどであつた。

源太は五左衞門の[illegible]をつくづくと眺めてゐたが、今日此處へ目につけられてゐる[illegible]役の主水も、男であるが、この五左衞門も侮らぬ奴だなと腹の中で[illegible]いた。

同時に、源太は主水と十郞左衞門とは何の仲であることをきつてゐるので、この十郞左衞門に主水の消息を[illegible]らせてやらうかとも考へてた。

が、主水の[illegible]は伊豆守殿から[illegible]のあひだ[illegible]めをされてゐるので、すこし[illegible]つてゐるらし[illegible]





モダンなぞ〱集

○三勇士とかけて
賣國奴と解く
心はこなみじん

まず主婦に必要な安く物を買ふ知識

まづデパートでの要領は時季を見るのが秘訣

物價は高くなるばかりですが、かう云ふ時代には家庭經濟の切盛りをひきうけてゐる家庭の主婦は支出を減らして何とか補はねばなりません、それには物を安く買ふ方法を知らねばなりません

百貨店で安く物を買ふ秘訣は、まづ百貨店が品物を安く手放す時期がある事を知らねばなりません

百貨　店はシーズンにずつと先立つて、豫想を立て、仕入れをいたします、この仕入れをはじめる時は、前シーズンの物を買拂つて手持品を少くしようとするのが常道です、理由は前シーズンの流行物を手持にすると來年まで店に入れておかねばなりません所が流行は毎年變化するので、今年のものは來年まで持越せない、それからまた新たな仕入れに必要な資金を手にしたいといふことにも、原因があるやうです

です　からこの時は流行の變化の激しい物であればあるほど、急いで賣放さねばならない譯ですから、相當思ひ切つて値を下げるものです、さう云ふ時期は春物なら四月初め、夏物は七月、秋物なら十月、冬物は十二月と、各店とも僅な相違はありますが一致しまつてゐます、之が所謂「藏拂ひ」と云ふやつです

この　のくら拂ひの時期になると二割から、物によつては五割も値が下ります、婦人の衣服や洋服、またこれと同じやうに流行の變化のひどい子供洋服などは、もつとも値段が下げられます流行品でもこのくら拂ひまで待てば、僅一ケ月位の辛棒で、二割ほど安いものが手に入る事になります、たつた一日はやく買つたばかりに二割程高く買ふと云ふ、つまらない結果がおこる事もあるわけです、それから舶來品がまた大變安くなります、舶來品の流行と云ふものはまた變遷が、日本品よりも一層激しいからです

男子　の帽子のやうなものでもちよいと見ると、少しもかはつてゐないやうですが此も、リボンも、つばも變つてくるので來年になると外國品に流行が一變するので、どうしても今年中に何とか處分しなければならないからです、それから香水です、これは少し栓がゆるんでゐるとすぐ香ひがなくなりますから、半値以下で賣る事もあります、また百貨店では、流行品の陳列會などを本店でやりますが、この時、良いと思はれる品の大部分は買はれてしまひますが

そこ　の陳列會の出品物を、さらに支店で、名を變へて催するのです、その時に賣殘り品ですから、ずつと値を下げて出す場合があります、また百貨店では仕入れの時期や方法で、大變に格安のものを手に入れる事がありますが、その時、特賣をやりますが、これをマーケットの品と見わける鑑識眼が必要です、マーケットで賣るものは最初からマーケット用として製造するのですから、品質は値段だけのものなのですが、この特賣品には實質的な格安品が現れます

パーマネント全盛時代
お手入は此呼吸で

春の美容界の流行はまさにパーマネントウエーヴの一語に盡きてをります「男裝の麗人」われらがターキーがあの印象的なボーイス・カウトからパーマネント・ウエーヴに轉向したと云ふニュースが、一度びレヴューファンのお耳に達するや否や、最終、ファンは美容院に殺到し「われらのターキー」の姿にあやかつたと云ふ娘のパーマネント狂時代です、ところが最近では、おしやれ殿方にまでパーマネント・ウエーヴが流行しはじめてまゐりました、折角のパーマネント・ウエーヴもお手入れをお上手になさらなくては、それこそお困りものです、そこで、芝山みよか女史にお手入れ法をうかゞつて見ませう

◇

パーマネントはお手入れさへお上手になりますと、相當永い間もたせることが出來ますが、自然に毛が伸びて來ますので、結局何時までももたせると云ふわけにはまゐりません

◇

それよりもウエーヴやカールをきれいに保たせるやうに致すのが先決——それには、おやすみなさる時には必ずナイト・キャップをお用ひ下さい、申すまでもなく、おやすみ中にお髮のみだれぬやうになさるためです

◇

さて、毎晩のお手入れ方法としては、油をたやさぬやうに常に植物性の油をおつけになり削ゆに髮出し油をお用ひ下さい、そして仕上げを致しまして、お髮を整へておくやうに致します、なほ水ものやローションなどはあまりお用ひにならない方がよろしいでせう、これをあまりおかけになると、セツトが崩れるおそれがございますから……

パーマネント全盛時代
初夏の美容院

◇

洗髮の際にはオリーブ油をよく根元にすりこんで、シャンプーなどを應用なさいませ、洗髮なさつた後には必ずセットをおわすれにならないやうに

◇

洗髮後、そのまゝにセットもなさらないで放つておきますと、パーマネントをおかけになつた意味が失はれるわけですから、セットはなるべく、ぬれてゐる內になさるやうになさいませ、御自分で思ふやうにお出來にならぬ時は美容院でセットを致します

◇

よくパーマネント・ウエーヴをおかけになつた方が、型がお氣にめさぬのアイロンをその上におかけになる方がございますが、あれは毛のためにもよくありませんからお止しになるやうに致したいものでございます

花嫁講義錄

婦人名

婦人の名には「よし子」「花子」の如く、子をつける事が近頃一般の例になつてゐるやうです、けれども、長上や身分の高い人に對しては、差出人は「子」をつけず、「花」「よし」の如く、書き放すのを禮としてあります、それと反對に、宛名の場合には、すべて「子」を用ひなければならず、特に敬意をはらふむき、又は敬意を表すべき場合には「八千代」の如き名に對しても「八千代子樣」と云ふ風に「子をつけるのが禮法とされてゐます

婦人日用文

婦人の日用文は、とかく、あれもこれもと、いろ〱のことを書き込みたがるために、筋が立たなかつたり、或はやさしくといふ氣持が候文風のものになつたりして、かへつて笑はれたりする場合が少くありません

◇また、金錢、月日、人名、地名の類が本文の中に現れて來た時、これを二行にわたつて書かない事もおぼえておくべき要項でありませう、婦人の手紙については、特にきれいに扱ひたいものであります、封メのにじんできたならしいもの、署名せんに指紋のついたもの、切手のまがつてはりつけられたものなど、いづれも女らしさのほどが推し計られますから、大いに注意を要します

◇さらに、久しく知り合つてゐる間柄に對して、返事をもらふために、氣を利かしたつもりで返信用切手を封入したり往復葉書をもちひたりするのは、あまりにも他人行儀にすぎてかへつて興味ないものです、たゞし、先方が經濟上困つてゐるむきに對しては、失禮ながらと云ふ言葉を添へて、切手もしくは返信用葉書を封入する事は、時に依つてある事です、要するに、臨機應變であります

◇また近頃は俗にさへ流れなければ、口語文の手紙で通用する場合が多くなりましたが、ときに依つては候文をもちひる必要もおこつて來ます、候文用語として、一寸しめしまゐらせ…の語がしば〱使はれますが、しめしは筆をぬらすの意味ですから、假名でかくべきで「示し」では意味を爲さぬばかりか、示しの文字が示すやうに失禮にあたります「かしこ」は「畏みて」の意味でありますから、これまた假名でかくべきものです

◇さらに、手紙の尻尾に、何とかお愛嬌をかゝねばならぬものと考へ今後會ふ折があるかないか、分らないのに「いづれお目にかゝりまして…」とかくのは、いかにもわざとらしく感心いたしません

戀愛の秘訣

果物は何時か熟れる

クラーク・ゲーブル發表

世界の色男クラーク・ゲーブル君は最近彼の「戀愛秘訣」なるものを公開におよんで「次の六則につきる」と大見得をきつてゐる、ただしこれは色男で、世界的な心臓の持主ゲーブルであつて始めて成功するもので、無闇に眞似ると、生兵法大キズの因になるかも知れぬ故、身分相應な所でやつて頂きたい

一、戀人の前では常に自分の最も惡い半面を示すべく、これは最初の過程では特に肝要である、さうすれば後から彼女を失望させずにすむ

二、花束などといふ無駄なプレゼントは禁物である、そんな習慣は結婚してから大へんな負擔になる

三、約束の時間は遠慮なく破るし、次のランデブーが有效な事必定である

四、約束を破つて御機嫌を損じても、くよ〱すべからず、一週間も放つておけば向ふから降參してくる

五、結婚する前に、あらかじめ將來の生活を考慮すべし、一生働けなくても、彼女の財産だけで食へる見込のない場合はあきらめることだ

六、最後に肘鐵を喰らつてくさる事は厳禁である「ノー」などにお構ひなく、勇敢に突撃すべしくだものはいつかは熟れるものだ

これは重寶　アハセ長着を極く早く仕立る法

和服の中でも長袢は時間のかゝるものでありますが、不器用などでありましたら次の方法で全部四つ縫にしますとごくはやく出來ます、袖…袖口をあはせ次に八つ口をぬひあはせ袖口下から四つぬひにします、身頃…まづ裏の脇つぎをしてどこよりも先に表裏の裾をあはせてしまひます、つぎに背及脇を四つぬひにします、オクミも褄合せをしてツマをこしらへ四つ付けにしまひます、その他襟下褄付襟付など普通あはせの仕立と同樣です、つまり背脇オクミなど普通にしますと表裏をぬひとぢ合せるのと都合三度手のかゝるところが一度ですむわけであります

護れ太平洋の波

寺島征史（作）
村岡春映（畫）

……賊一五五……

眞か僞か（六）

分隊長は、

『あなたは、ウイルスン氏と、何う云ふ關係の方ですか』

と、いつた。なるほど、ぶつきら棒にウイルスンと面會したといつたとて、おいそれとそれを許す譯が無い。

『ウイルスン君は僕の親友です』

栗飯原は、よどみなくさう云つてのけることが出來た。

『ところが、ウイルスン氏は、最うこゝには居りません』

『では、警察署の方にでも？』

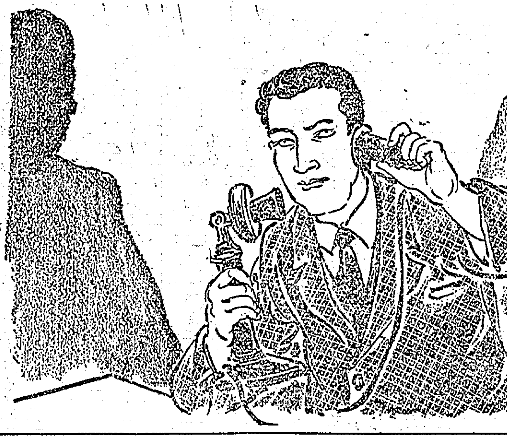
『いや！嫌疑が晴れて釋放しました』

『えッ！では、どこへ去りましたか』

『さあ、行先は判然としないね』

『しまつた！』

栗飯原は、思はず、しまつたと叫んだ。



『何うしたのです』

憲兵分隊長は、不思議さうに栗飯原を見た。

『首實驗をしなければならなかつたのです』

『首實驗？』

『さうです。ジャパン・トピック紙記者を名乘る外人は、橫濱碇泊のミネソタ丸で渡米したはずです當地へあらはれたのは贋物のウイルスンだと僕は見込んでをるのです』

『では、贋物だとすると、誰なのです？』

『アメリカのピコル兵器會社の技師長のクーパー博士です』

『クーパー博士と云ふのは、來朝中なのです』

『さうです。觀光客として來朝中なのですが、實はピコル氏からの重大使命を帶びてやつて來たのです』

『何うして、あんたはそれを知つてをられるのか』

『僕も、ピコル會社の研究員だつたからです』

『なるほど……で、ピコル氏から大使命と云ふのは？』

『陸軍從遊覽團です』

『ふむ！』

憲兵分隊長は、ふむ！といつたきり口を噤んで仕舞つた。

『クーパー博士は、野に放つた虎のやうな男です。あの男が日本に滯在して居る間、僕は一日もあの男から眼をはなすことが出來ないのです』

『何うして、あんたは、そのやうに愛國なされるのか』

『クーパー博士は、爆裂彈のやうな人間だからです。……あの男の、足取りは判りませんかな』

『つまり、ウイルスン氏の行先だね』

『さうです』

『內地へ戻つたか、千島へ渡つたか其の二途あるのみぢや』

憲兵分隊長は、いやに落着きはらつてゐる。

「水上警察署に問合せると、千島へ渡つたか何うかゞ判明いたしますね』

『無論ぢや』

栗飯原は、憲兵分隊の電話をかりて、水上署に問合してみたが、此の數日間千島通ひの大小船舶に外人の乘客は無いと云ふ返事だつた。

『すると、汽車で內地へ向つたかな……』

栗飯原は、地圖を睨んで口惜がつた。

『あんたは、なんの爲めに、さうしてクーパー博士を追跡なさるね國家にとつて害になる人物は、警察機關が總動員して搜索するぢやないか』

『ところが、警察機關が見落してゐる恐ろしい人物は我々が民間へなければなりますまい。僕は警察を排して、あの男を搜索します』

『やるが好い』

憲兵分隊長は、突然哄笑した。

○——無線局附近を徘徊して怪しまれた外人、栗飯原が、まさしくクーパー博士と見込んだ男が、千島へも渡らず、內地へも戻らず、べん〱として[illegible]の港町の本町通りの旅館[illegible]の一室に居た

◎評判の美味しい「みつ豆」始めました
蜂蜜入　フルーツ　みつ豆
東京風　アン　みつ豆
電28　福壽軒

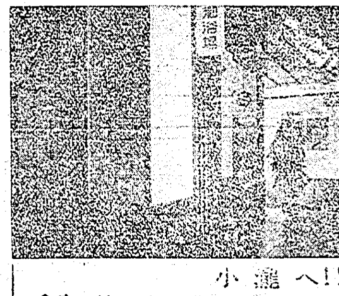
開業
齒科一般
平町田町（安濟醫院向）
齋藤齒科
東京齒科醫學士　齋藤賢三

新開院
重田眼科　平驛前通り　元福島貯蓄銀行跡
眼科一般
眼鏡檢定
醫師　重田景治
平町田町一番地

東京第一流の
五月人形
◎端午飾りのトップはフクダヤ
豊月特作
御座敷飾りセット
新型武者人形
甲冑飾セット
弊店特製の『鯉のぼり』ハ　好評嘖々
『是非』一御一覽下さい。
フクダヤ祝品部　平二丁目

外科
專門　X光線科
上田外科醫院
平南町　電話一二九番

鐵道省指定記念
小濱名……湯本間乘合自動車
無料乘車券サービス



小瀧へ!!
◇宿泊料　1.50　2.00　2.50
（御滯在は左記料金にて中食料なくませます）
◇日歸客席料　.20
◇自炊料　.50―.80　入浴料・室料夜具料一切
◇料理一定食　.80　1.00　1.50
（其の他一品料理洋食）
◇湯効　神經痛.リウマチス.胃腸病痔疾.婦人病.逆上.中風.肥胖病
（內務省東京衞生試驗所檢定濟）
◇諸設備　撞球臺.高級ラヂオ.大廣間讀書室.近代式浴場と洗面所.水洗式便所.小動物園.タクシー部御子樣運動器具
◇名物　川魚料理（うなぎ.鯉）蜂蜜羊かん
◎女中數名入用◎
常磐線湯本驛　小瀧鑛泉
御旅館　御自炊　瀧の湯
電話（小名濱）103番

乘車券は小名濱馬目自動車店、西野屋自動車店、湯本驛前丸木、矢內自動車店に御座ます。三人樣以上はハイヤーをサービス致します。何卒御利用下さい。

和洋家具
建具
テーブル
椅子
其他裝飾品一般……
製作販賣
諸官衙　各學校　御用達
御用命は迅速に御努め致します
平町五丁目四
㊝片寄製作所
電話四八四　片寄小彌太
（見習徒弟）（募集）十五、六歲以上　委細面談

花柳病科　外科
木村外科醫院
平町六丁目橋際　電話三〇九

三井タクシー
平二　電話五八六番

春物は
是非！
當店から
（在庫豊富）

平屋洋品店
平町田町電話六五六番

國旗と提灯
[illegible]

壁の塗り替へは！
カセイン
大谷建材店
平町紺屋町
電話三六六番

肌が美しく若返へる……
（南洋特産パパイン酵素入）
三共パパコロン
專賣特許
本品の御常用はニキビ、ソバカス、シミを消し　スベスベとしたキメ細かな美肌を作るので評判です。
一本　35セン
三共株式會社特約代理店
（電話3番）西村屋藥局（平）

特許
新洗劑
モノゲン
毛糸、毛織物、人絹類を！縮めずに洗へる……
漬けて十分間、揉まずに落ちる新洗劑
費用は大人のセーター一着三錢で間に合ひます
定價　0.35　1.20
平町田町銀座
ハシモトヤ糸店
電話一四番